

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月7日

上場会社名 ニチアス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5393 URL https://www.nichias.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀津 克己  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 山本 司 (TEL) (03) 4413-1111  
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	249,391	4.7	35,208	17.5	38,974	17.8	26,961	26.0
2023年3月期	238,116	10.1	29,954	14.0	33,082	8.2	21,398	△2.9

(注) 包括利益 2024年3月期 36,242百万円( 49.7%) 2023年3月期 24,208百万円( 0.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	406.60	—	14.5	14.0	14.1
2023年3月期	322.59	—	13.1	12.9	12.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 80百万円 2023年3月期 59百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	290,788	200,918	68.7	3,039.26
2023年3月期	266,907	173,742	64.6	2,598.45

(参考) 自己資本 2024年3月期 199,681百万円 2023年3月期 172,359百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	19,167	△12,897	△11,107	55,574
2023年3月期	18,650	△8,651	△6,368	58,962

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	—	46.00	—	46.00	92.00	6,102	28.5	3.7
2024年3月期	—	48.00	—	50.00	98.00	6,469	24.1	3.5
2025年3月期(予想)	—	52.00	—	52.00	104.00		27.0	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	△0.0	17,000	8.3	17,000	△8.0	11,700	△9.9	176.44
通期	252,000	1.0	37,000	5.1	37,000	△5.1	25,500	△5.4	384.56

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	67,811,917株	2023年3月期	67,811,917株
2024年3月期	2,111,342株	2023年3月期	1,480,118株
2024年3月期	66,310,161株	2023年3月期	66,332,215株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件、各項目の変動要因など、業績予想等に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当 .....	3
(6) 事業等のリスク .....	4
2. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	6
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(表示方法の変更) .....	15
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	20
5. その他 .....	21
生産、受注及び販売の状況 .....	21
6. 補足説明資料 .....	22
(1) 連結主要数値の推移 .....	22
(2) 四半期連結業績推移 .....	22

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における事業環境は、日本の景気は、このところ足踏みもみられるものの、緩やかに回復しています。製造業の設備投資は持ち直しの動きがみられますが、生産は一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により活動が低下しており、輸出は持ち直しの動きに足踏みがみられます。海外の景気は、中国では持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、米国では拡大しており、新興国では回復しております。

このような状況の中、原子力、石油精製、石油化学向けおよび冷蔵冷凍倉庫向けを中心に需要が堅調に推移したプラント向け工事・販売部門と、昨年まで続いた車載用半導体不足の解消に伴い需要が堅調に推移した自動車部品部門を中心に売上が増加し、当社グループの売上高は、前連結会計年度に対し4.7%増の2,493億91百万円となりました。

利益面では、営業利益が352億8百万円、経常利益が389億74百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が269億61百万円となり、前連結会計年度と比較しそれぞれ17.5%、17.8%、26.0%の増加となりました。

当連結会計年度のセグメント別売上高の状況は以下のとおりです。

**プラント向け工事・販売**については、原子力、石油精製、石油化学向けおよび冷蔵冷凍倉庫向けを中心に需要が堅調に推移したため、売上高は前連結会計年度に対し12.7%増の735億18百万円となりました。

**工業製品**については、国内のインフラ向けシール材やふっ素樹脂ライニング製品の需要が堅調に推移しましたが、中国の経済状況悪化の影響で環境製品の需要が伸び悩んだため、売上高は前連結会計年度に対し0.7%減の512億9百万円となりました。

**高機能製品**については、半導体メモリを中心に投資減少の傾向にあり、半導体製造装置向け製品の需要が減少したため、売上高は前連結会計年度に対し5.2%減の428億30百万円となりました。

**自動車部品**については、国内需要を中心に持ち直しの動きが見られ、自動車メーカー各社の生産台数が回復基調となったため、売上高は前連結会計年度に対し7.2%増の501億33百万円となりました。

**建材**については、耐火被覆材の需要が堅調に推移したため、売上高は前連結会計年度に対し7.8%増の316億99百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、退職給付に係る資産が58億81百万円、投資有価証券が47億75百万円、電子記録債権が40億38百万円、原材料及び貯蔵品が37億68百万円、商品及び製品が27億73百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して238億81百万円増加の2,907億88百万円となりました。

当連結会計年度末における負債は、短期借入金が増加しましたが、社債（1年内償還予定の社債を含む）が80億円、電子記録債務が37億74百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して32億95百万円減少の898億70百万円となりました。

当連結会計年度末における純資産は、利益剰余金が207億25百万円、退職給付に係る調整累計額が41億29百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して271億76百万円増加の2,009億18百万円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して33億88百万円減少し555億74百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は191億67百万円（前年同期は186億50百万円の獲得）となりました。

これは、法人税等の支払額95億76百万円、仕入債務の減少64億82百万円、棚卸資産の増加57億50百万円、売上債権の増加53億59百万円等により資金が減少しましたが、税金等調整前当期純利益383億52百万円、減価償却費75億93百万円等により資金が増加したことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は128億97百万円（前年同期は86億51百万円の支出）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出123億97百万円等により資金が減少したことによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は111億7百万円（前年同期は63億68百万円の支出）となりました。

これは、短期借入金の増加68億20百万円等により資金が増加しましたが、社債の償還による支出80億、配当金の支払額62億24百万円等により資金が減少したことによります。

### (4) 今後の見通し

2025年3月期の見通しにつきましては、半導体関連の需要回復が見込まれる高機能製品事業をはじめ各セグメントにおいて堅調な推移が見込まれます。このような状況を踏まえ、2025年3月期の業績につきましては次のとおり予想しております。

売上高2,520億円、営業利益370億円、経常利益370億円、親会社株主に帰属する当期純利益255億円。

なお、上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

### (5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社グループは、収益力を高めるために経営基盤の強化を図りながら、配当可能利益の拡大と株主価値の向上を通じて株主のみなさまに対する長期的かつ適正な利益還元を図る一方、再投資のための内部留保を充実することを利益配分の基本方針としております。

このような基本方針のもと、配当につきましては安定した配当の継続に重点を置き、さらに当該期の利益水準や財務状況、将来の事業展開に向けた設備投資や研究開発に必要な投資資金などを総合的に勘案して実施することとしております。また、株主のみなさまへの利益還元に関する目標としましては、2022年11月に発表いたしました「配当方針の変更に関するお知らせ」において、DOE3.5%以上を目安とし、現在の中期経営計画期間中において累進配当の継続を基本方針とすることを定めております。

当連結会計年度の配当金につきましては、第2四半期には1株当たり48円の配当を実施し、期末配当については1株当たり50円とさせていただきます。

また、2025年3月期の配当金につきましては、上記の方針に基づき、中間配当金は1株当たり52円、期末配当金は1株当たり52円を予定しておりますが、財務状況や次期の業績等を総合的に勘案したうえで、最終的に決定させていただきます。

## (6) 事業等のリスク

投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。なお、将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

### □景気変動、経済情勢のリスク

当社グループは、ガasket、パッキンなどのシール材の製造販売、ロックウール、無機繊維などを基材とする各種の無機断熱材の製造販売、ふっ素樹脂など高機能樹脂を使用した耐食材や耐食機器部品の製造販売、エンジンおよび周辺機器用のシール材や防音・防熱用機能材などの自動車部品の製造販売、けい酸カルシウム板や断熱材を中心とした各種不燃建材の製造販売、また、電力・ガス、石油精製・石油化学プラントの保温保冷工事、フリーアクセスフロア工事などを事業として行っており、需要先は石油精製・石油化学、化学、鉄鋼、電力・ガス、自動車、半導体、建設など幅広い産業分野にわたっています。このため、全産業の設備投資動向、また耐食材については半導体の需要動向、自動車部品については自動車の生産、販売台数の動向、建材については住宅およびビル建設需要の動向に依存し、最終的には内外の景気動向や経済情勢次第で業績が変動する可能性があります。

### □海外事業活動のリスク

当社グループはアジアをはじめとして海外で事業を展開しております。海外での事業においては、通常予期しえない法律や規制の変更あるいは急激な金融情勢の変化など、経済的に不利な要因の発生や政治的混乱などのリスクが存在します。こうしたリスクが顕在化した場合、当社グループの海外での活動に支障が生じ、当社グループの業績や財務状況に影響を与える可能性があります。

### □原材料調達リスク

当社グループは、主な原材料として金属、コークス、パルプ、ゴム、ふっ素樹脂等を使用しています。これらの原材料の供給元の経済環境の変化、供給能力の低下などにより、必要な原材料の調達が困難になった場合には、当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

### □債権管理のリスク

当社グループは取引先に対して、売掛金や受取手形などの債権を有しております。与信管理については常に充分注意しておりますが、予期せぬ貸倒れにより、当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

### □会計上の見積りに係るリスク

当社グループは、工事契約に係る収益認識、固定資産減損会計に関連する回収可能価額、繰延税金資産の回収可能性等に関して見積りを行っております。これらの見積りは、将来に関する一定の仮定に基づいて作成しており、それらの見直しにより当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

### □退職給付債務のリスク

当社グループの年金資産の時価が下落した場合や年金資産の運用利回りが低下した場合、または、予定給付債務を計算する前提となる基礎率などに変更があった場合、損失が発生する可能性があります。

### □製品の品質維持のリスク

当社グループは、各生産拠点において品質保証の国際規格ISO9001のもとで各製品を製造しておりますが、全ての製品について欠陥が無く、将来クレームが発生する可能性が全くないという保証はありません。製品の欠陥は当社グループの評価に影響を与え、業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□情報セキュリティのリスク

当社グループは、当社および顧客・取引先についての個人情報・機密情報を保有しており、これらの情報の外部流出を防止するために、社内ルールの整備、教育の徹底、セキュリティシステム強化等の対策を講じていますが、情報の流出が発生した場合には、損害補償等により当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□災害に係わるリスク

当社グループは国内外に複数の生産拠点などを有しています。製品供給が途絶えた場合の顧客への影響度合い、市場での重要性、代替品への切り替え可能性などを考慮した対策を施しておりますが、当該拠点のいずれかが大規模地震などに被災し稼働困難となった場合には、当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□アスベスト(石綿)による健康障害者への補償のリスク

当社および一部の国内子会社は、当社起因のアスベスト疾病により死亡または療養されている従業員および元従業員に対して、社内規程に基づき補償金を支払っております。また、一定の基準を満たされた当社および一部の国内子会社の工場周辺住民の方に救済金を支払っております。今後もアスベストによる健康障害者への補償費用等の負担が継続する可能性があります。

なお、アスベスト健康被害に関し、損害賠償請求の提訴を受けておりますが、当社といたしましては適切に対処していく所存です。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、1896年わが国における保温・断熱分野のパイオニアとしてスタートし、様々な産業分野へ「断つ・保つ」の技術を基盤とした製品とサービスを提供することで成長してまいりました。

2011年には経営理念として

ニチアス理念

「ニチアスは、『断つ・保つ』の技術で地球の明るい未来に貢献します。」

を制定し、「風通しを良くする」「仲間で仕事をする」「全体最適で考える」という具体的行動指針のもと、以下の3項目を「私たちの約束」として掲げ、事業運営を行っております。

□ルールを守り、社会と共に歩みます。

□感謝の心を忘れず、お客様の満足を追求します。

□互いに信頼し、共に成長します。

## (2) 目標とする経営指標

ニチアス理念のもと当社グループは、「働きやすい、明るい会社」の実現に向け、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画「しくみ・130」（2023年3月期～2027年3月期）を策定し、数値目標、環境目標については、下記のとおりといたしております。

## ①数値目標

	2027年3月期
売上高(億円)	2,500
営業利益率(%)	15.0
ROE(%)	13.0
ROIC(%)	12.0

## ②環境目標

	2025年3月期	2027年3月期
CO2eq排出量(万t)	18.6	18.3
産業廃棄物排出量(千t)	18.3	17.1

※中期経営計画「しくみ・130」において、「し」は従業員と家族の幸せ、「く」は課題解決のための工夫、「み」は持続的成長を目指す明るい未来と定義づけ、外部環境が目まぐるしく変化する中、変化に適応できる「しくみ」を構築し、当社創立130周年となる2027年3月期の目標達成に向け、課題に取り組んでまいります。当該計画については、前半3ヵ年を第1ステージ（2023年3月期～2025年3月期）、後半2ヵ年を第2ステージ（2026年3月期～2027年3月期）と期間を区分けしております。環境の変化を踏まえ、適宜、目標に対する進捗の評価・検証、目標達成に向けた課題の見直しを行いながら進めております。なお、環境目標については、従来掲げた目標を前倒して達成できる見込みとなりましたので、新たな目標を設定いたしました。数値目標についても、第2ステージを見据えた検討を進めてまいります。

## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,433	56,376
受取手形及び売掛金	33,122	33,455
電子記録債権	13,961	18,000
完成工事未収入金	22,292	23,999
商品及び製品	19,832	22,605
仕掛品	3,808	3,687
原材料及び貯蔵品	18,346	22,115
未成工事支出金	1,605	1,500
その他	3,567	3,381
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	175,963	185,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	67,106	71,147
減価償却累計額及び減損損失累計額	△38,276	△40,412
建物及び構築物（純額）	28,829	30,735
機械装置及び運搬具	85,900	88,026
減価償却累計額及び減損損失累計額	△72,127	△75,126
機械装置及び運搬具（純額）	13,773	12,899
土地	14,962	15,254
リース資産	443	475
減価償却累計額	△132	△208
リース資産（純額）	311	266
建設仮勘定	4,008	6,611
その他	12,707	13,623
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,439	△11,414
その他（純額）	2,267	2,209
有形固定資産合計	64,152	67,976
無形固定資産		
ソフトウェア	857	916
その他	668	660
無形固定資産合計	1,525	1,577
投資その他の資産		
投資有価証券	17,601	22,377
長期貸付金	364	181
退職給付に係る資産	1,972	7,854
繰延税金資産	1,442	1,422
その他	3,918	4,325
貸倒引当金	△32	△41
投資その他の資産合計	25,266	36,119
固定資産合計	90,944	105,673
資産合計	266,907	290,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,401	21,302
電子記録債務	13,812	10,037
1年内償還予定の社債	8,000	5,000
短期借入金	10,485	16,805
リース債務	260	262
未払金	6,453	5,229
未払法人税等	4,850	6,905
未成工事受入金	211	299
賞与引当金	3,324	3,389
その他	5,873	6,043
流動負債合計	76,671	75,274
固定負債		
社債	5,000	-
リース債務	763	700
繰延税金負債	2,589	5,625
退職給付に係る負債	4,395	4,446
訴訟損失引当金	300	443
その他	3,445	3,380
固定負債合計	16,493	14,595
負債合計	93,165	89,870
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,128	12,128
資本剰余金	13,857	13,892
利益剰余金	139,332	160,058
自己株式	△4,061	△6,590
株主資本合計	161,256	179,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,200	12,540
為替換算調整勘定	2,730	4,351
退職給付に係る調整累計額	△828	3,301
その他の包括利益累計額合計	11,103	20,192
非支配株主持分	1,382	1,236
純資産合計	173,742	200,918
負債純資産合計	266,907	290,788

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>売上高</b>		
商品及び製品売上高	180,043	183,774
完成工事高	58,073	65,616
売上高合計	238,116	249,391
<b>売上原価</b>		
商品及び製品売上原価	131,068	130,064
完成工事原価	49,038	54,561
売上原価合計	180,107	184,626
<b>売上総利益</b>	58,009	64,764
<b>販売費及び一般管理費</b>		
販売費	8,887	8,743
一般管理費	19,167	20,812
販売費及び一般管理費合計	28,055	29,555
<b>営業利益</b>	29,954	35,208
<b>営業外収益</b>		
受取利息	90	160
受取配当金	504	574
為替差益	1,048	1,853
受取賃貸料	564	558
持分法による投資利益	59	80
投資有価証券売却益	382	187
その他	841	756
営業外収益合計	3,490	4,171
<b>営業外費用</b>		
支払利息	163	160
賃貸収入原価	43	34
石綿特別拠出金	46	47
その他	109	162
営業外費用合計	362	405
<b>経常利益</b>	33,082	38,974
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	27	32
補助金収入	7	2
特別利益合計	34	34
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	306	143
減損損失	679	94
事業整理損失	1,176	223
訴訟損失引当金繰入額	84	195
災害による損失	46	-
特別損失合計	2,293	656
税金等調整前当期純利益	30,822	38,352
法人税、住民税及び事業税	9,091	11,488
法人税等調整額	190	△237
法人税等合計	9,281	11,251
当期純利益	21,541	27,101
非支配株主に帰属する当期純利益	142	139
親会社株主に帰属する当期純利益	21,398	26,961

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	21,541	27,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	3,339
為替換算調整勘定	1,859	1,676
退職給付に係る調整額	519	4,124
その他の包括利益合計	2,667	9,141
包括利益	24,208	36,242
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	24,045	36,051
非支配株主に係る包括利益	163	191

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,128	13,857	123,904	△4,059	145,830
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
剰余金の配当			△5,969		△5,969
親会社株主に帰属する当期純利益			21,398		21,398
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		△0		0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△0	15,428	△2	15,426
当期末残高	12,128	13,857	139,332	△4,061	161,256

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,911	890	△1,346	8,455	1,235	155,522
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						-
剰余金の配当						△5,969
親会社株主に帰属する当期純利益						21,398
自己株式の取得						△2
自己株式の処分						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	289	1,840	517	2,647	146	2,793
当期変動額合計	289	1,840	517	2,647	146	18,220
当期末残高	9,200	2,730	△828	11,103	1,382	173,742

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,128	13,857	139,332	△4,061	161,256
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		33			33
剰余金の配当			△6,235		△6,235
親会社株主に帰属する当期純利益			26,961		26,961
自己株式の取得				△2,568	△2,568
自己株式の処分		1		39	41
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	34	20,725	△2,528	18,231
当期末残高	12,128	13,892	160,058	△6,590	179,488

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,200	2,730	△828	11,103	1,382	173,742
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						33
剰余金の配当						△6,235
親会社株主に帰属する当期純利益						26,961
自己株式の取得						△2,568
自己株式の処分						41
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,339	1,620	4,129	9,089	△145	8,944
当期変動額合計	3,339	1,620	4,129	9,089	△145	27,175
当期末残高	12,540	4,351	3,301	20,192	1,236	200,918

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	30,822	38,352
減価償却費	7,454	7,593
減損損失	679	94
事業整理損失	1,176	223
固定資産除売却損益(△は益)	279	110
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	8
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△508	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△72	15
投資有価証券売却損益(△は益)	△382	△187
賞与引当金の増減額(△は減少)	45	56
受取利息及び受取配当金	△594	△734
支払利息	163	160
為替差損益(△は益)	△884	△1,262
売上債権の増減額(△は増加)	△4,460	△5,359
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,227	△5,750
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△597	100
仕入債務の増減額(△は減少)	951	△6,482
未収入金の増減額(△は増加)	63	240
未払金の増減額(△は減少)	△1,088	588
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△3	84
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△160	143
補助金収入	△7	△2
災害による損失	46	-
その他	831	95
小計	28,517	28,089
利息及び配当金の受取額	594	734
利息の支払額	△164	△164
補助金の受取額	38	30
災害による損失の支払額	△79	-
事業整理損失の支払額	-	△157
法人税等の支払額	△10,286	△9,576
法人税等の還付額	29	211
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,650	19,167
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△275	△322
有形固定資産の取得による支出	△8,190	△12,397
有形固定資産の売却による収入	92	107
無形固定資産の取得による支出	△439	△443
投資有価証券の取得による支出	△8	△7
投資有価証券の売却による収入	401	340
貸付けによる支出	△4	-
貸付金の回収による収入	33	92
子会社株式の取得による支出	-	△23
その他	△260	△242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,651	△12,897

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,140	6,820
長期借入金の返済による支出	△3,300	△500
社債の償還による支出	-	△8,000
リース債務の返済による支出	△222	△331
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2	△2,568
配当金の支払額	△5,967	△6,224
非支配株主への配当金の支払額	△16	△53
その他	-	△250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,368	△11,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	918	1,449
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,548	△3,388
現金及び現金同等物の期首残高	54,414	58,962
現金及び現金同等物の期末残高	58,962	55,574

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「雇用調整助成金等」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「雇用調整助成金等」155百万円、「その他」685百万円は、「その他」841百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「雇用調整助成金等」および「雇用調整助成金等の受取額」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「雇用調整助成金等」△155百万円、「雇用調整助成金等の受取額」8百万円および「その他」978百万円は、「その他」831百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、市場別の事業本部制を敷いており、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎としたセグメントから構成されており、「プラント向け工事・販売」「工業製品」「高機能製品」「自動車部品」および「建材」の5つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

報告セグメントごとの主な事業内容は下記のとおりであります。

報告セグメントの名称	主な事業内容
プラント向け工事・販売	電力、石油精製・石油化学産業などの各種プラントの保温工事、保冷工事、耐火工事、防音工事、防災工事の設計と施工およびメンテナンスと石油精製・石油化学産業のプラント設備用のシール材（ガスケット、パッキン）、無機繊維製断熱材、ふっ素樹脂製品の販売
工業製品	電力、ガス、鉄鋼、環境、医療、食品などの幅広い産業分野へのシール材（ガスケット、パッキン）、無機繊維製断熱材、ふっ素樹脂製の各種成形素材・加工品・耐食ライニング材およびハニカムフィルターの製造・販売
高機能製品	半導体・液晶製造装置用のふっ素樹脂製部品、無機繊維製断熱製品、ハニカムフィルターおよびシール材の製造・販売
自動車部品	エンジンおよびエンジン周辺機器用のシール材や防音、防熱、制振用機能材などの自動車部品の製造・販売
建材	けい酸カルシウムを主材とした不燃内装材、化粧板、ならびに各種不燃建材の製造・販売およびオフィスビルなどの不燃建材による耐火被覆工事や各種フロア材によるフリーアクセスフロア工事の設計と施工

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいて算定した合理的な内部振替価格によっております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結 財務諸表 計上額
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	65,242	51,566	45,159	46,750	29,396	238,116	—	238,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,181	—	—	—	10,181	△10,181	—
計	65,242	61,748	45,159	46,750	29,396	248,298	△10,181	238,116
セグメント利益又は 損失(△)	8,426	8,984	10,957	2,467	△880	29,954	—	29,954
セグメント資産	37,089	64,914	29,175	46,230	24,180	201,588	65,318	266,907
その他の項目								
減価償却費	311	3,021	1,179	2,319	621	7,454	—	7,454
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	366	3,586	1,165	960	1,231	7,311	2,758	10,069

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額65,318百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、提出会社の現金及び預金、管理部門及び研究部門に係る資産並びに繰延税金資産等であります。
- (2) 有形固定資産及び無形固定資産増加額の調整額2,758百万円は、管理部門及び研究部門に係る資産等の設備投資額であります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結 財務諸表 計上額
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	73,518	51,209	42,830	50,133	31,699	249,391	—	249,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,256	—	—	—	10,256	△10,256	—
計	73,518	61,466	42,830	50,133	31,699	259,648	△10,256	249,391
セグメント利益	10,580	10,489	9,635	3,770	733	35,208	—	35,208
セグメント資産	40,566	67,788	36,602	51,813	26,044	222,814	67,973	290,788
その他の項目								
減価償却費	336	3,004	1,445	2,092	714	7,593	—	7,593
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	306	2,297	4,990	1,392	259	9,246	1,870	11,117

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額67,973百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、提出会社の現金及び預金、管理部門及び研究部門に係る資産並びに繰延税金資産等であります。
- (2) 有形固定資産及び無形固定資産増加額の調整額1,870百万円は、管理部門及び研究部門に係る資産等の設備投資額であります。

## (関連情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
192,971	34,979	10,165	238,116

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
50,352	11,980	1,819	64,152

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
202,610	36,120	10,659	249,391

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
53,749	12,282	1,945	67,976

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材 (注)	計		
減損損失	—	—	—	679	1,038	1,718	—	1,718

(注)「事業整理損失」として計上しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
減損損失	—	—	—	—	94	94	—	94

## (1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,598円45銭	3,039円26銭
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(百万円)	173,742	200,918
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1,382	1,236
(うち非支配株主持分)	(1,382)	(1,236)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	172,359	199,681
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	66,331	65,700

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額	322円59銭	406円60銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	21,398	26,961
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	21,398	26,961
普通株式の期中平均株式数(千株)	66,332	66,310

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. その他

## 生産、受注及び販売の状況

## 1. セグメント別生産高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増減率	当連結会計年度 構成比率
工業製品	42,773	42,045	△1.7	33.4
高機能製品	29,830	29,719	△0.4	23.6
自動車部品	38,417	43,525	13.3	34.5
建材	8,831	10,746	21.7	8.5
合計	119,853	126,036	5.2	100.0

## 2. セグメント別受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増減率	当連結会計年度 構成比率
プラント向け 工事・販売	68,514	71,864	4.9	29.1
工業製品	52,289	51,766	△1.0	21.0
高機能製品	44,916	39,510	△12.0	16.0
自動車部品	45,617	50,281	10.2	20.4
建材	29,033	33,287	14.7	13.5
合計	240,372	246,711	2.6	100.0

## 3. セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増減率	当連結会計年度 構成比率
プラント向け 工事・販売	65,242	73,518	12.7	29.5
工業製品	51,566	51,209	△0.7	20.5
高機能製品	45,159	42,830	△5.2	17.2
自動車部品	46,750	50,133	7.2	20.1
建材	29,396	31,699	7.8	12.7
合計	238,116	249,391	4.7	100.0

## 6. 補足説明資料

ニチアス株式会社(5393) 2024年3月期 決算短信

## 2024年3月期 決算発表 補足資料

## (1) 連結主要数値の推移

(単位:百万円)

	通期							
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期		2025年3月期	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率	予想	前期比増減率
売上高	208,876	196,372	216,236	238,116	249,391	4.7%	252,000	1.0%
営業利益	20,427	19,616	26,264	29,954	35,208	17.5%	37,000	5.1%
営業利益率(%)	9.8%	10.0%	12.1%	12.6%	14.1%		14.7%	
経常利益	21,633	21,279	30,572	33,082	38,974	17.8%	37,000	△ 5.1%
経常利益率(%)	10.4%	10.8%	14.1%	13.9%	15.6%		14.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,674	10,715	22,034	21,398	26,961	26.0%	25,500	△ 5.4%
当期純利益率(%)	7.0%	5.5%	10.2%	9.0%	10.8%		10.1%	
1株当たり当期純利益(円)	221.21	161.53	332.18	322.59	406.60	26.0%	384.56	△ 5.4%
総資産	208,076	219,602	246,924	266,907	290,788	8.9%	—	—
純資産	127,233	136,450	155,522	173,742	200,918	15.6%	—	—
自己資本	126,297	135,429	154,286	172,359	199,681	15.9%	—	—
自己資本比率(%)	60.7%	61.7%	62.5%	64.6%	68.7%		—	—
有利子負債	26,077	25,861	25,652	25,892	24,286	△ 6.2%	—	—
有利子負債依存度(%)	12.5%	11.8%	10.4%	9.7%	8.4%		—	—
設備投資額	8,978	7,703	11,355	10,069	11,117	10.4%	10,700	△ 3.8%
減価償却費	6,274	6,536	6,616	7,454	7,593	1.9%	7,700	1.4%
研究開発費	6,132	6,168	6,110	5,715	6,037	5.6%	6,000	△ 0.6%

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、  
2022年3月期以降の主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

## (2) 四半期連結業績推移

(単位:百万円)

	2023年3月期				2024年3月期				前期比増減率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
売上高	54,617	58,889	62,808	61,801	59,178	60,857	65,061	64,294	4.0%
営業利益	6,589	6,364	8,751	8,249	7,640	8,049	9,806	9,712	17.7%
営業利益率(%)	12.1%	10.8%	13.9%	13.3%	12.9%	13.2%	15.1%	15.1%	
経常利益	8,263	8,088	8,566	8,164	9,115	9,362	9,730	10,765	31.9%
経常利益率(%)	15.1%	13.7%	13.6%	13.2%	15.4%	15.4%	15.0%	16.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,617	5,691	6,088	4,000	6,353	6,625	6,703	7,279	82.0%
当期純利益率(%)	10.3%	9.7%	9.7%	6.5%	10.7%	10.9%	10.3%	11.3%	

※本資料に掲載されている現在の計画、見通しなどのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、  
これらは現在入手可能な情報から得られたデータを会社の判断に基づいて示しております。  
従って、実際の業績は様々な要因により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。